

ご当地ナンバー「知床」 の導入を推進します！

・ 知床 500 ・
12-34

これまで、ご当地ナンバー『知床』の導入については、町広報やホームページ、各種会議・住民説明会等の場で説明させていただくとともに、住民の皆様からのご意見を伺ってまいりました。

お寄せいただいたご意見を参考に町議会と協議の結果、同意をいただきましたので、小清水町は「知床・地方版図柄入りナンバープレート導入協議会」の一員として、導入推進を正式に決定いたしました。

町民の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

ご当地ナンバーとは…

自動車のナンバープレートには、自動車の使用の本拠の位置を管轄する運輸支局と自動車検査登録事務所の名称が表示されていましたが、国が自動車のナンバープレートを地域の要望に応じて、新たな地域名表示を追加できることとされたものです。

『知床』ナンバーが付いた自動車が各地を走ることで、地域振興や観光振興の推進等の効果が期待できます。

ご当地ナンバーは“走る広告塔”



なぜ「知床」ナンバーなの？

ご当地ナンバーの導入には、

- ①自動車の登録台数が5万台以上であること
 - ②名称が国内外において相当程度の知名度を有していること
- などの条件があり、世界自然遺産『知床』を有する道東で、町や管内の枠を超え、一体となって『知床』ナンバーの導入に取り組み、世界自然遺産の適正な管理や自然環境の保全・保護の意識啓発、更には、広域での観光振興や地域経済の活性化のため、小清水町は導入推進を決定しました。

「オホーツク」ナンバーにはできないの？

ナンバーとして登録できる名称は、原則として漢字2文字となっております。

やむを得ない場合でも、ひらがなを使用し、文字数は最大4文字に制限されますので、「オホーツク」の名称は使用できません。

「知床」ナンバーの導入を 推進している団体と車の数は？

- 推進団体は、斜里町、小清水町、清里町、羅臼町、標津町、中標津町、別海町の7町です。
- 登録自動車数の合計は、50,237台となります。
(平成29年3月31日現在)

ナンバープレートは いつから変わるの？

国に認められれば、平成32年度から『知床』ナンバーの交付が始まり、新車や中古車を購入したときに『知床』ナンバーが交付されます。
※新車や中古車を購入しない限り、「北見」ナンバーが変わることはありません。

「知床」ナンバーと「北見」ナンバーは選べるの？

選ぶことはできません。平成32年度以降、新たに交付されるのは『知床』ナンバーのみになります。

「知床」ナンバーには図柄が入るの？

以下の3種類から選べるようになりますが、登録に係る費用が異なります。

種類	登録の条件
①『知床』の地名のみのナンバー (現在の「北見」が「知床」に変更されたもの)	現在と同じ交付手数料の支払い
②『知床』の地名と図柄(白黒)ナンバー	現在より高い交付手数料の支払い
③『知床』の地名と図柄(カラー)ナンバー	現在より高い交付手数料の支払い +1,000円以上の寄付

※②③の交付手数料は、ナンバープレートの発行枚数などにより、国が決めることとなります。

※③の寄附金の使途は、『知床』ナンバーを導入する地域が共同で決めていきます。

「知床」ナンバーの 図柄はどうやって 決めるの？

平成30年度に図柄デザインの公募を行い、各地域で候補作品の町民アンケートを実施し、アンケート結果を参考に選考委員会・協議会において最終決定する予定です。